

Weekly Bulletin

2024-2025



RI会長
ステファニー A. アーチェック



静岡東ロータリークラブ

会長/長島秀親 幹事/島 武志

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
長島秀親



第 3119 回例会 令和6年12月12日

《司会》 島武志 君

《合唱》 我らの生業

《ソングリーダー》 稲森敦子 君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

12月16日 栗田 英行 君

12月18日 由利 浩志 君

12月21日 川崎 依子 君

・結婚記念日

12月15日 新聞 桂子 君

12月21日 高田 雅司 君

《会長挨拶要旨》 長島秀親 会長

今月は「疾病予防と治療月間です」マイロータリーに掲載



されている、「疾病との闘い」の記事を紹介させていただきます。

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利は

すべての人にあると信じています。

世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを計画するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。

マラリア、HIV、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の子防・治療や患者

の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料定期健康診断や眼科、歯科検診も行っています。ロータリーはこのような活動をしています。

病気は何もせず予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への指導など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。

以上のような記事がマイロータリーには掲載されています。

11月30日実施をいたしました、エンドポリオ街頭募金活動も「疾病予防」に関連する奉仕活動に値します。

自身のマイロータリーにログインし、奉仕プロジェクトセンターに入ると、疾病予防と治療の各種プロジェクトなどを回覧することができます。マイロータリーでは、ロータリーの色々な情報が得られ、特にラーニングセンターに入ると、様々なアイテムがあり、研修やトレーニングを受講することができます。

当クラブのクラブ広報グループで、「マイロータリー」への登録推進を行っているのですが、まだマイロータリーへの登録を行っていない会員の方はこれを機にマイロータリーへの登録を行っていただきたいです。現在、当クラブで「マイロータリー」に登録している会員は20名です。3分の1ということになります。入会されて間もない会員などはマイロータリーへの登録の仕方が解らないと思いますので、杉山輝光委員長にお声がけをしていただければ丁寧に教えていただけると思います。

本年度中に一人でも多くの会員にマイロータリーの登録をしていただく手法を現在検討していますので手法が決まり次第、取り組みを実施していきたいと考えております。その際はご協力の程、よろしくお願いたします。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

《ロータリーの友の感想》 西川福之 君

先週いただいた24年12月号から、左側のP7「地域社会の疾病予防と治療に取り組むには」を取り上げます。この記事では地域医療の現状と課題を取り上げロータリークラブがどのように貢献できるかについて事例を紹介しています。地域医療の課題として、医師の偏在がもたらす地域間格差が取り上げられています。



日本の医師はここ数年で5%増加も人口1000人あたりの医師の数は2.4人でOECD加盟国の同3.5人に遠く及ばず、OECD加盟36カ国中ワースト5位です。

都市部に集中している傾向で遠隔地では医療を身近に受けられない現状が紹介されています。

また日本の医師の傾向として長時間の労働環境や待遇面で消化器系の医師が敬遠されている一方で、胃がんや大腸がんなど日本人に罹患率の高い消化器系への医療ニーズが高まる中で現在の傾向が続くと消化器系の医師は20年後には現在の半数になると見込まれており、地方での医療提供がますます困難になってくるそうです。

これらへの対処として「病気への予防・健康増進」、「医療サービスのDX化」への取組の必要性があげられており、またロータリーの取組例として「岐阜・下呂ロータリーの医師による地域医療フォーラム開催や減塩の取組」、「鹿児島・奄美中央ロータリークラブの歯科医師による虫歯予防の取組」、「熊本地区のグローバル補助金奨学生による米ホプキンス大学への留学と帰国後のコロナ禍での公衆衛生面での活躍」などが紹介されていました。

《会員卓話》 藤田尚徳 君

演題「世界文化遺産 三保松原を1000人のチカラで1000年先まで守る！」



(要約)

一般社団法人三保の松原3Ringsプロジェクトの代表理事を務めさせていただいています。このプロジェクトは「千人の力で千年先まで三保の松原の景観を守る」という目的で、

三保の松原の保全活動を行っています。毎週土曜日に清掃活動を実施し、これまで145回、1万3000袋以上の松葉かきで松の保全を行ってきました。活動資金確保のため、落ちた落ち松葉を活用した名刺やカレンダーなどの商品開発、企業パートナーシップの募集を行っています。また、学生と企業のマッチング、観光と保全活動の融合など、地域活性化に向けた新しい取り組みも展開しています。

◆プロジェクトの概要と目的

「千人の力で千年先まで三保の松原の景観を守る」というのがビジョンです。名称の由来は三つの「千」（千人、千

年、三保）に基づいています。

◆保全活動の実績と現状

毎週土曜日の定期的な清掃活動を実施し、145回、45リットルごみ袋で1万3000袋以上の回収を達成。活動は5年以上継続していて、コロナ禍中も社員の交流の場として機能してきました。

◆商品開発と資金調達

落ち松葉を活用した名刺、和紙、カレンダーなどの商品開発。企業パートナーシップ制度（プラチナ、シルバー、ブロンズ）の導入による持続可能な資金調達の仕組みを構築しています。年間3万円からの協賛も可能です。

◆地域活性化への取り組み

学生と企業のマッチングイベントを定期的に開催し地域の就職支援の強化、JTBと連携して観光と保全活動の融合（サステイナブルツーリズム）など、地域の課題解決に向けた新しい取り組みを展開しています。

《所感》

私もこの取組を知り日々の仕事のなかで名刺を使わせていただいておりますが、藤田代表理事の想いと行動が個人、企業にバタフライ効果としてさらに大きな渦となり広がっていくことに少しでもお役に立てればと感じました。

《スマイル報告》

- 栗田 英行君（誕生日の御礼）
- 由利 浩志君（誕生日の御礼）
- 川崎 依子君（誕生日の御礼）
- 伊藤 洋一郎君（結婚記念日の御礼）
- 佐橋 徹君（結婚記念日の御礼）
- 高田 雅司君（結婚記念日の御礼）
- 新聞 桂子君（結婚記念日の御礼）
- 飯塚 潤君

無事に大きくなりました。2025年は少し小さくなります
長島 秀親君

本日は早退という形になってしまい、申し訳ありません。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU
12/19	()			
12/12	()			
12/5	59(57)	45	12	4
月暫定出席率			%	

(会報作成 妹背 俊紀)